

令和2年度 荒尾支援学校 進路・福祉に関するニーズ調査

■調査の目的

卒業後の進路・福祉の利用に関する本校保護者の考えを質問紙法（質問一覧参照）でお聞きした結果をまとめて、本校ホームページなどのさまざまな方法で公開・提供します。

荒尾支援学校に在籍する児童生徒の進路ニーズとその傾向に関する情報を、行政・関係機関の皆様と共有し、本校を取り巻く有明圏域の福祉の一層の発展充実に寄与したいと考えました。

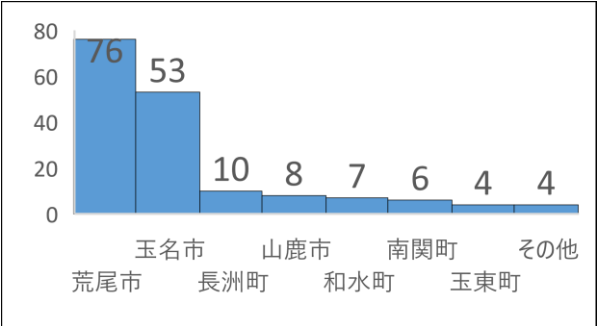
質問一覧	
I	基本情報（学年・性別・手帳段階・居住地）
II	進路希望 ①日中活動の場（7つの選択肢より選択） ②生活の拠点（4つの選択肢より選択）
III	福祉サービスの利用状況 短期入所、日中一時支援、放課後等デイ、相談支援の利用状況
IV	進路を考える際に困ること ①福祉について（5つの選択肢より選択） ②就職について（4つの選択肢より選択） ③進路選択全般について（4つの選択肢より選択） ④自由記述
V	進路情報について（自由記述）

	在籍数	回答数	回答率
小学部一般学級	48	35	72.9%
中学部一般学級	37	35	94.6%
高等部一般学級	68	45	66.2%
重複障がい学級	16	13	81.3%
全 体	168	128	76.2%

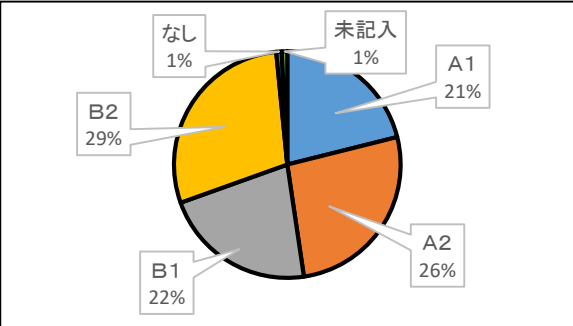
アンケート回答率

■中学部一般学級の回答が最も高くなっており、それに対して進路選択間近な高等部一般の関心が低いという気になる結果です。

I 基本情報



■本校の児童生徒の居住地は、9つの市町となっています。このうち荒尾市・玉名市で全児童生徒数の、実に77%を占めています。



■療育手帳の所持状況は、B2段階が最も多く、次いでA2、B1、A1の順となっています。

II 進路希望 ①日中活動の場

	小一般	中一般	高一般	重複学級	人数	割合
1就職	3	6	14	0	23	18.0%
2就労系福祉施設	13	13	16	1	43	33.6%
3介護系福祉施設	2	2	10	9	23	18.0%
4職業能力開発校	0	0	0	0	0	0.0%
5進学	2	9	0	0	11	8.6%
6その他	0	0	0	0	0	0.0%
7わからない	14	4	5	3	26	20.3%
未回答	1	3	0	0	4	3.1%
	35	35	45	13	128	

■希望順に「就労系福祉施設」「就職」「介護系福祉施設」となっています。これらの希望数は、向こう12年間分の潜在的利用者数とも考えられ、有明圏域福祉サービスの整備の参考になると考えられます。
また、小学部で「わからない」の回答数が4割にのぼることから、福祉や就労に関する情報提供支援に更に力を入れる必要性がうかがえます。

Ⅱ 進路希望 ②生活の場

	小 一般	中 一般	高 一般	重複 学級	人数	割合
1 自宅	28	26	36	11	101	78.9%
2 入所施設	1	3	7	1	12	9.4%
3 グループホーム	4	1	0	0	5	3.9%
4 一人暮らし	1	3	1	0	5	3.9%
5 未回答	1	2	1	1	5	3.9%
	35	35	45	13	128	

■生活の拠点は、卒業後も 8 割弱が自宅での生活を希望されていますが、入所ニーズも 1 割弱あります。
特に高等部では進路決定の節目になるため比較的高くなっており、家族の状況によって入所ニーズが高まるものと考えられます。

Ⅲ 福祉サービスの利用状況

1 ショートステイ

	小 一般	中 一般	高 一般	重複 学級	人数	割合
利用している	8	2	7	4	21	16.4%
していない	25	24	36	1	86	67.2%
無回答	2	9	2	8	21	16.4%
	35	35	45	13	128	

■利用実績があるのは16.4%にとどまりますが、平素の個別面談で耳にするニーズはもっと多い印象です。サービス提供事業所数・全体量に課題があると思われます。

2 日中一時支援

	小 一般	中 一般	高 一般	重複 学級	人数	割合
利用している	16	9	9	8	42	32.8%
していない	17	20	32	0	69	53.9%
無回答	2	6	4	5	17	13.3%
	35	35	45	13	128	

■ショートステイ同様に小学部一般学級での利用実態が比較的多くなっています。低年齢層のご家族ほど、サービス利用ニーズが高いものと思われます。

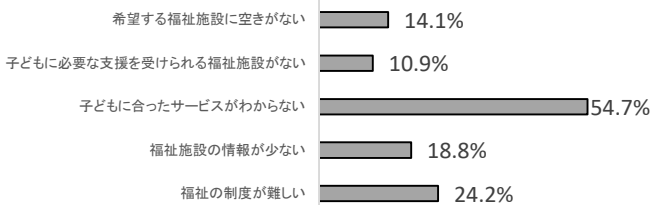
3 放課後等デイサービス

	小 一般	中 一般	高 一般	重複 学級	人数	割合	高一般 以外
利用している	29	27	22	10	88	68.8%	79.5%
していない	4	4	20	0	28	21.9%	9.6%
無回答	2	4	3	3	12	9.4%	13.3%
	35	35	45	13	128		

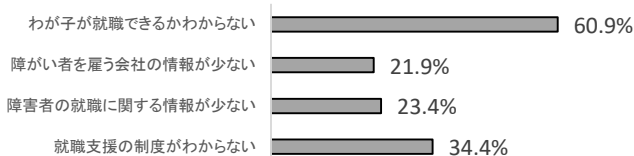
■利用実績が68.8%と他のサービスに抜きん出ています。
但し、高等部一般学級では利用実績48.9%と低く、中学校特別支援学級から入学してくる生徒のご家庭では、福祉サービスの利用ニーズが低いことがうかがえます。

Ⅳ 進路を考える際に困ること

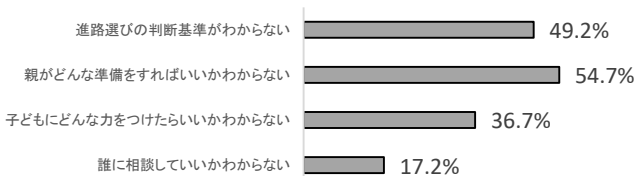
①福祉について



②就職について



③進路選択全般について



■進路を考える際に困ることを、「福祉」「就職」「進路選択全般」に分けてお尋ねしました。

①「福祉」に関する困りごととしては「子どもに合ったサービスがわからない。」を半数以上が挙げています。

②「就職」に関する困りごととしては、「わが子が就職できるかわからない。」を6割が挙げています。

③「進路選択全般」に関する困りごととしては、「親がどんな準備をすればいいかわからない。」「進路選びの判断基準がわからない。」がそれぞれ5割程度が挙げています。

このような結果から、福祉行政・労働行政・福祉サービス事業者・学校が連携協働し、本人・保護者のニーズに即した「情報提供支援」体制強化が必要と思われます。

<お問い合わせ> 熊本県立荒尾支援学校
担当：進路指導部（谷口）
電話：0968-62-1131